

二見の地理、歴史体感

明石西高校（明石市二見町西二見）の生徒が1日、二見地域を歩いて住民らから話を聞き、地元の地理や歴史、まちづくりについて理解を深めた。
(赤松沙和)

明石西高1年生、寺社など巡る

授業「総合的な探求」の一環

同校の授業「総合的な探求」の一環。1年生約300人が16のグループに分かれ、地図を見ながら事前に話し合っただけで経路周辺の寺や神社、公民館などを訪れた。

1年6組のA班は、市の

都市景観形成重要建築物に指定されている「尾上邸」

を訪問した。同邸は江戸後期の200年前に建築された二見港に通じる旧街道沿

住人やガイドが解説

いの肥料問屋。生徒らは当時の手書きの請求書やはんこなどを手に取りながら、伝統的商家の歴史について住人から解説してもらった。

瑞応寺では観光協会の方から寺の歴史について聞いた。上西厚生館では地

域の交流拠点として地域福祉向上や人権課題解決などを目指して実施するさまざまな事業について、館長が

ら説明を受けた。

中本結菜さん(16)は「初めて知る地域の歴史や地域交流も活発なことなど、新しい発見がいろいろあった。

た」。同校の木澤直子教頭は「グローバル教育に力を入れていくが、地元をよく知ることも大切。視野を広げる機会になれば」と話した。



観光ガイドの話を聞く高校生ら＝明石市二見町東一見、瑞応寺



明石市都市景観形成重要建築物に指定されている尾上邸で話を聞く高校生ら＝明石市二見町東一見



上西厚生館の館長から話を聞く高校生ら＝明石市二見町西二見